



	育成すべき知識・能力	1. 基礎		2. 専門分野								3. 汎用的技能（応用的能力）		4. 態度・志向性（道徳的能力）				5. 総合的な学習経験と創造的思考力	
		1-1. 数学・自然科学	1-2. 工学基礎	2-1. 機械工学の基礎	2-1-a. 基礎力学-材料力学	2-1-b. 基礎力学-流体力学	2-1-c. 基礎力学-熱力学	2-2. 機械材料・機械要素	2-3. 加工・生産	2-4. 制御・メカトロニクス	2-5. 環境デザイン	2-6. 機械の強度設計	3-1. 課題発見・解決力, 論理的思考	3-2. コミュニケーション・スキル	4-1. チームワーク, 自己管理能力	4-2. 倫理観	4-3. 市民としての社会的責任	4-4. 生涯学習力	5. 創成能力（システム設計）
到達目標	工学基礎としての数学, 物理学などの基礎知識を使うことができる。	機械工学に関する幅広い基礎知識を有し, それらを工学の諸問題の解決に応用できる。	機械工学, 設計および機械の基本原則を身につけ使うことができる。	材料の変形についての知識を持ち, その現象を理解することができる。	身の回りの流体现象に関する知識を深めるとともに, その現象を理解することができる。	熱に関する基礎的な知識を習得するとともに, 熱に関する現象を理解することができる。	機械に用いる材料や機械要素の特徴を知っており, ものづくりにいかすことができる。	材料加工法に関する知識を有しており, ものづくりにいかすことができる。	機械制御についての知識を有しており, 電気分野との融合を図ることができる。	人や環境にやさしい製品を作るための知識を有している。	機械の強度設計や性能設計に必要な力学分野の基礎知識を使うことができる。	問題解決に必要な情報を収集し, それを基に考えることができる。また, 将来に対する先見性を持ち, それをものづくりに活かすことができる。	機械技術者として, 自らの考えを相手に正確かつ適切に口頭で伝えることができ, そのために必要なプレゼンテーション能力を身につけている。	協調性を有しており, 科学的・技術的課題に対し, チームワークにより問題設定・解決ができる。	技術者倫理の知識があり, 自己の技術行為に責任を持つことができる。	機械技術者として, 幅広い視野を有し, 社会に役立つものづくりについて考えることができるとともに, 一社会人としての行動, 判断を自らの責任の元で行うことができる。	時代とともに変化・発展していく社会に対し, 常に学び続けることができることを身につけている。	機械工学とその他の分野との融合を図ることができ, 新たなものづくりを展開することができる。	
流体力学I			◎		◎														
流体力学II			◎		◎														
流体力学III			◎		◎														
熱力学I			◎			◎													
熱力学II			◎			◎													
熱力学III			◎			◎													
機械工学入門		◎	○					○	○					○					
機械製作法			○	○					◎										
機械設計								○				◎							
機構学								◎				○							
機械製図法 I			◎					○											
機械製図法 II			◎					○											
機械設計製図			◎									◎							
機械CAD			◎									○	◎						
CAE基礎			◎	○	○	○													
工学基礎演習 I		○	◎																
工学基礎演習 II			◎										○						
機械工学実験 I												◎	○	◎					
機械工学実験II												◎	○	◎					
工業材料			◎	○			◎												
機械計測			◎																
自動制御			◎									◎							
ロボティクス通論												◎							
基礎化学演習		◎	○			○													
電気工学概論												◎							
情報工学概論												◎							
産業組織と工学倫理															◎				
卒業研修												◎	◎	◎		○	○		◎